

関東1地区

高校生のための心理学講座シリーズ
心理学と社会 ―こころの不思議を解き明かす―

2017年 8月2日(水) 10:00~17:00

慶應義塾大学(三田キャンパス) 第1校舎123番教室

参加費無料・事前申込制
定員200名(先着順)

JR田町駅 徒歩8分・三田駅(浅草線・三田線) 徒歩7分・赤羽橋駅(大江戸線) 徒歩8分 <http://www.keio.ac.jp/ja/maps/mita.html>
※筆記用具をご持参ください。上靴は必要ありません。昼食をご持参ください(キャンパス内に学生食堂、近隣にコンビニがあります)。

◆ 企画・司会：伊東 裕司(慶應義塾大学)・池田 まさみ(十文字学園女子大学)

10:00~	企画趣旨	
10:10~11:00 心理学研究法	三浦 大志 (杏林大学)	目に見えない「こころ」を、どうやって明らかにすれば良いのでしょうか。心理学ではしばしば、実験や調査で心のデータを集め、統計を使ってデータを料理することで心を科学的に解明します。実験や調査のデモンストレーションを行うことで、心が明らかにされていく過程と心理学研究の方法を体感してもらいたと思います。
11:10~12:00 社会心理学	森 津太子 (放送大学)	私たちは皆、人との関わりの中で生きています。社会心理学は、そのような社会的動物であるヒトの特性を探ることを目的としています。今回は、さまざまな社会心理学の実験を紹介しながら、私たちの行動は他者の存在によってどのように影響されるのか、またその背後にはどのような心の働き(認知、感情)があるのかについて考えていきます。
13:10~14:00 認知心理学	伊東 裕司 (慶應義塾大学)	私たちは、「私が私自身であること」を疑うことはありません。この「私自身」という感覚をもたらしているものの一つに記憶があります。ここでは、記憶と自己の関係について考え、一貫性と柔軟性を兼ね備えた自己を可能にする記憶の性質について、実験的研究、記憶障害の症例を見ながらわかりやすく解説します。
14:10~15:00 発達臨床心理学	菅佐原 洋 (常磐大学)	私たちはある時期になると自然に歩いたり、しゃべったり始めます。このような年齢に伴う変化を発達といいますが、発達はよくできた仕組みに支えられています。もしこの仕組みがうまく働かないと、発達障がいと呼ばれるさまざまな困難が生じます。発達の仕組みとその障がい、そしてその支援を扱うのが発達臨床心理学です。体験課題や事例などを通じて、発達とその支援について考えていきます。
15:10~16:00 教育心理学	市川 伸一 (東京大学)	私たちは生まれてから、生活のさまざまな場所で新しい知識や技能を身につけていきます。人間が学習するしくみとはたらきをもとに、家庭、学校、社会の中での教育のあり方を考えていくのが教育心理学という分野です。今回は、皆さんにも関心があると思われる、学習意欲と勉強法を中心に解説します。
16:15~17:00	総括(質疑応答) /アンケート記入	

★ 参加申込方法 ★

▶ Faxでのお申し込みは以下のFax申込フォームにてお申し込みください (Fax番号 03-3814-3954)

▶ メールまたは往復はがきでのお申込み

「関東1地区参加希望」と明記の上、住所、氏名、年齢、所属(高校名・学年等)、電話番号をお知らせください。

※ 複数名でのお申し込みの場合も、皆さま分の情報をお知らせください。

〒113-0033 東京都文京区本郷5-23-13 田村ビル 公益社団法人 日本心理学会 メールアドレス: jpa-highschool@psych.or.jp

※ お申し込みいただいた順に受付番号をEメール、Fax、はがきにてお知らせしますので、住所、Fax番号、メールアドレスを必ずご記入ください。

※ 往復はがきでお申し込みの方は、返信用はがきに住所をご記入ください。

※ 高校生、教職員の方向けの講座ですが、保護者の方、一般の方の参加も歓迎いたします。ご一緒にお申し込みください。

Fax 申込フォーム【関東1地区】

フリガナ		学校名	_____ 高等学校	
参加者氏名	(男・女)	学 年	() 学 年	
住 所	〒 _____			
メールアドレス			年 齢	
Fax番号				
電話番号				

※ お知らせいただいた個人情報は、本事業の受付目的にのみ使用します。